

能と狂言

銕仙会

TESSENKAI

青山能 MIRAI

能 狂言
岩船 いわふね 重喜 じゅうき

安藤継之助

山本 則匡

2025年8月30日(土)
午後1時30分開演(1時開場)
会場 銕仙会能楽研修所

鑊仙会青山能MIRAI

2025年8月30日(土) 午後1時30分開演

青山能MIRAIは能楽の未来を担う次世代の能楽師を皆様とともに育ててゆきたいという思いから企画された公演です。

放下僧

長山 凜三

仕舞

羽衣

安藤 玄恵

鞍馬天狗

青木 響平

重喜

シテ 重喜 山本 則匡
アド 住持 山本 則秀
檀家 山本 則孝

この辺りに住む檀家の者が住持と新発意(新米僧)の重喜を招待して、齋(法事で出される食事)を振る舞うことになった。

さて二人は早速出かけることにするが、住持は久しく頭を剃っていないので重喜に剃ってもらうことにする。しかし日頃から粗相ばかりの重喜のこと。刃物を扱わせるのが心配になった住持は、昔から「弟子七尺去って師の影を踏まず」と言うように師を敬って振る舞うものだと重喜を諭し、充分に注意して剃るよう言いつけるが…。

能 岩船

シテ 龍神 安藤継之助
ワキ 勅使 宝生 朝哉
ワキツレ 臣下 宝生 尚哉
大日方 陽

天下泰平の御代。摂津国、住吉の濱の市で高麗唐土の宝を買い求めてくるよう宣旨を賜り、勅使一行が住吉の浦を訪ねる。

一行が神代から今も続く御代とその恵みのありがたさを讃えていると、龍神が海中より姿を現す。龍神は天の岩船に乗った神々が天探女に漕ぎ寄せられて高天原から天降ったことに倣い、宝物を載せた岩船を守護して住吉の岸へと引き寄せる。

やがて八大龍王が海上に飛行して現れると岩船の綱を手に巻きつけ、ともに力を合わせて岩船を住吉の岸に着ける。船からは金銀珠玉の数多の宝が運び出され、御代の幾久しく栄えることが予祝されるのだった。祝言性に特化した、すつきりとした構成の脇能。

◎より詳しい解説を鑊仙会ホームページにて順次公開しております。ご観能前には是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
※無許可の写真撮影、録音録画は固くお断り致します。
※客席内での飲食はご遠慮ください。

安藤継之助	2016年生まれ。	安藤貴康の長男。
長山 凜三	2005年生まれ。	長山桂三の長男。
安藤 玄恵	2018年生まれ。	安藤貴康の長女。
青木 響平	2018年生まれ。	青木健一の長男。
大日方 陽	2008年生まれ。	大日方寛の次男。
宮増 大河	2002年生まれ。	観世新九郎の次男。
山本 則匡	2017年生まれ。	山本則秀の長男。

会場：鑊仙会能楽研究所(全自由席)

〔交通〕地下鉄表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29
TEL 03-3401-2285

※駐車場はございませんので
お車での来場はご遠慮下さい。

入場料：一般 3,000円

U25(25歳以下) 1,000円
親子ペア券 3,500円
ベンチ席 3,500円(正面最後列・限定10席)

お問い合わせ・お申し込み：鑊仙会

電話 03-3401-2285(平日10~17時)
ホームページ <http://www.tessen.org>
予約受付開始：2025年5月12日(月) WEB 10時、電話 13時

鑊仙会定期公演(9月)予告

9月12日(金) 午後6時開演

会場：観世能楽堂

能 巴

狂言 横座

能 融

9月24日(水) 午後6時30分開演

会場：鑊仙会能楽研究所

能 山姥
狂言 呼声
能 山姥
写真 昨年の青山能MIRAIより 撮影：鑊仙会

